

# 病害虫発生予察注意報第2号

## (平成 24 年 7 月 26 日)

病害虫名 いもち病(葉いもち・穂いもち)

1 発生作物 水稻

2 発生地域 茨木市、豊能町、能勢町

3 発生の状況

7月後半の予察調査で水稻いもち病の発生が確認された。大阪府の水稻いもち病(葉いもち)の7月平均発病株率(過去10年間平均)は5.0%に対し、7月23日現在の発病株率は以下のとおり。

過去10年間平均を大きく超える発病株率の調査地点もあり、今後の気象状況によっては葉・穂いもちの発生増加が懸念される。

調査地点	発病株率%	7月平均発病株率(過去10年間平均)
茨木市下音羽	33.3%	22.0%
豊能町切畑	4.0%	8.4%
能勢町倉垣	80.0%	11.3%
大阪府平均	(調査中)	5.0%

各調査地点3ほ場 1ほ場あたり25株

4 防除対策

(1) ほ場の状況をよく観察し、適期に防除する。

- ・発生の確認、または発生が懸念される場合はすみやかに防除する。
  - ・穂いもちの発生が見込まれる場合には、穂ばらみ期～出穂期に薬剤を散布する。
  - ・発生が多い場合はさらに穂ぞろい期～乳熟期にも散布する。
  - ・薬剤により使用時期が違うので、ラベルをよく読んで適期に散布する。
- (2) 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、同一グループの薬剤を連用しない。

- (3) 農薬散布後1週間は落水やかけ流しをしない。
- (4) 薬剤を散布する時は、周囲に飛散しないよう注意する。
- (5) 以下の薬剤を参考とする。
- ・ブラシフロアブル(葉いもち・穂いもち 1,000 倍 21 日前／2回)
  - ・フジワン粒剤(3～5kg/10a 葉いもち:初発 10～7 日前ただし収穫 30 日前 穂いもち:出穂 30～10 日前ただし収穫 30 日前／2回)
  - ・コラトップジャンボ  
(10～13 パック／10a 葉いもち:初発 20 日前～初発時 穂いもち:出穂 30～5 日前／2回)
  - ・キタジンP粒剤  
(3～5kg／10a 葉いもち:初発 7 日前～初発時 穂いもち:出穂 20～7 日前／2回)
  - ・オリゼメート粒剤(3～4kg／10a 葉いもち:初発 10 日前～初発時ただし収穫 14 日前 穂いもち:出穂 4～3 週間前ただし収穫 14 日前／2回)



▲いもち病の病斑



▲株全体の様子